



大阪労働局発表
令和7年10月30日

【照会先】

労働基準部 監督課
電 話 06 (6949) 6490

物流の2024年問題の解決に連携して取り組む運送事業者と荷主、 大阪労働局長、大阪運輸支局長の4者が意見交換を実施します！

～運送事業者：鴻池運輸株式会社、荷主：ダイキン工業株式会社～

大阪労働局（高橋 秀誠）では、例年11月に働きやすい職場づくりや長時間労働削減などに積極的に取り組んでいる「ベストプラクティス企業」を選定し、取組事例の紹介を行っています。

自動車運転者は、他業種の労働者と比較して長時間労働の実態にありますが、長時間労働の背景には、荷主都合による手待ち時間の発生など、取引上の慣行から労働時間の短縮が進まない等の、いわゆる「物流の2024年問題」の解決に向けて、荷主と運送事業者の取引条件改善などの環境整備を強力に推進する必要があります。

こうした状況を踏まえ、今年度は、府内の運送事業者を取り巻く状況や問題解消に向けた課題などについて、大阪労働局、国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局、運送事業者である鴻池運輸株式会社、荷主であるダイキン工業株式会社の4者で意見交換を行います。

1 日時：令和7年11月11日(火) 14:00～15:30

2 場所：大阪市中心区大手前4－1－67

大阪合同庁舎第2号館 5階 共用会議室C

3 ベストプラクティス企業の取組

★鴻池運輸株式会社（運送事業者）の取組例（概要は別添のとおり）

他社との共同配送などの取り組みにより、労働時間の削減を図っている。

★ダイキン工業株式会社（荷主）の取組例（概要は別添のとおり）

製品のトラックへの荷の積み下ろし方法を手積みからパレットに乗せ、フォークリフトを使用する方法に変更することで、荷役作業員の負担軽減を図るとともに、荷待ち時間の短縮を図っている。



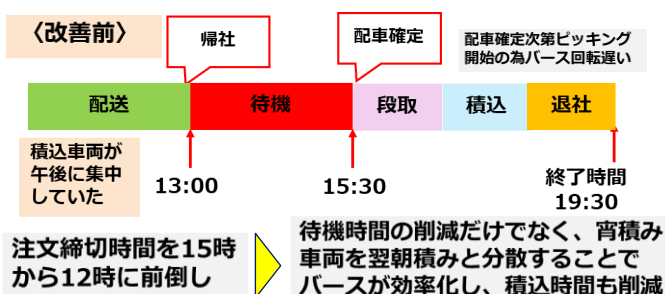
物流の2024年問題解決に向けた取組について

私たち鴻池運輸株式会社では、物流サービスを手掛ける企業として、「人」の成長こそが、持続的な企業価値向上を実現する上で不可欠であると考えています。その実現に向けて、トラックドライバーを含めた働き方改革、従業員一人ひとりのウェルビーイング（幸せを感じる状態）の向上等に取り組んでいます。

●2024年問題解決に向け4つの重点課題に取り組んでいます

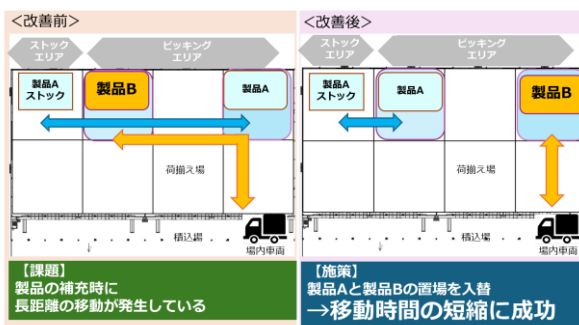
待機時間の削減

・注文締切時間を前倒し、配車確定を早期化することで、宵積み車数を翌朝積みと分散



荷役作業効率化

・パレット等の活用、庫内レイアウト変更による効率化 エリア入替による移動時間の削減例



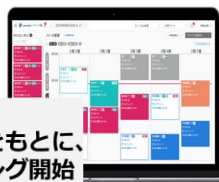
情報共有による効率化

・バス予約システム導入し、入場車両に合わせたピッキングが可能に

【ドライバー】

翌日の配送状況を考慮し、前日に積み時間を予約

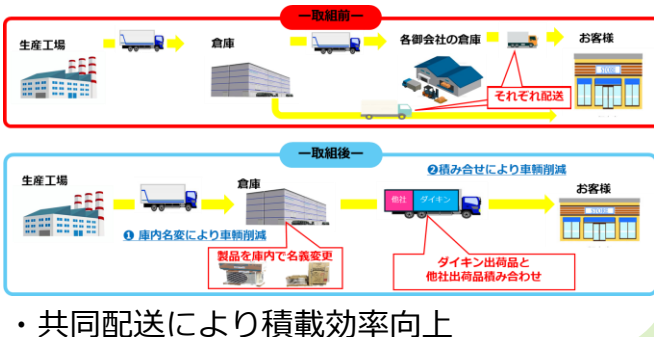
バス管理画面
(電付バス担当が見る画面)



【倉庫】

当日ドライバー予約状況をもとに、バスを割当て、ピッキング開始

共同保管・共同配送の促進



●働き方改革、ウェルビーイング向上への取組

働き方改革への取組

・長時間労働対策、過重労働防止への取組
勤怠管理システムにより、日々の労働時間管理を把握、不適切な労働時間管理を防止
トラックドライバーの36協定および改善基準告示遵守状況を各営業所ごとの実態を毎月本社にてトレース実績を労働組合側と共有
・年次有給休暇の取得促進、健康確保対策も推進



エンゲージメントサーベイ

・働く幸せ実感と働く不幸せ実感、およびその下地となる組織の状態を、2022年11月より年に1度計測

➡この調査結果を改善活動の出発点として全従業員で認識し、全社で行う企業風土の改善と、拠点ごとの特性に応じた改善の二軸によるPDCAを展開中

会社概要

会社名：鴻池運輸株式会社
代表者：代表取締役会長兼社長執行役員
鴻池 忠彦
本社：大阪市中央区、東京都中央区

創業：1880年（明治13年）
グループ従業員数：連結 約25,000名
国内グループ会社数：29
海外現地法人数：35

物流2024年問題解決に向けた取組について

総合空調メーカーである私たちダイキン工業株式会社は、倉庫内荷役及び輸配送について複数の物流事業者様に業務委託し、製品をお客様にお届けしています。
人手不足が加速する物流業界で、物流事業者から選ばれる荷主になれる様、メーカー物流の立ち場を活用し作り方・売り方にまで踏み込んだ取組や他社と協業した取組を推進しています。

●メーカー物流としての作業負荷・拘束時間削減に向けた取組

パレットへの製品積み付けの 最適な組合せによる 積載効率を落とさないパレット輸送

- ・積載悪化を抑制出来るパレットサイズ、組み合わせパターンを模索
- ➡積込＋荷卸し時間短縮、荷役作業負荷軽減



フォークリフトで 荷扱い出来る梱包仕様に変更

- ・車種を選ばない梱包仕様に変更
- ➡作業負荷軽減・積込み時間を短縮化



車両到着に合わせた庫内プロセス改革

- ・車両入場予定に応じプル型庫内運営を実施
- ➡入場後即積込を可能にシドライバー拘束時間減
計画に基づく庫内運営により荷役残業時間減



営業部門の受注早期登録促進による 締切時間の前倒し

- ・メーカー物流部門として営業と協議
- ➡締切時間前倒しを実現し、配送センター入場後の待機時間（配車・ピッキング待ち等）を削減



●他社と共同した車両運行効率向上取組

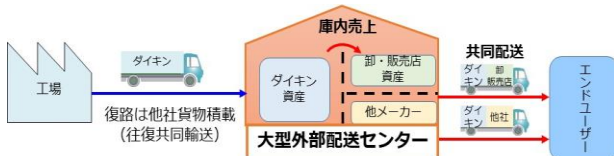
ドライバー負荷を軽減する モーダルシフト・次世代トラック導入

- ・ダブル連結トラックを導入（家電業界初）
- ・モーダルシフト、スイッチ輸送も推進中



お客様の物流効率も考慮した共同物流

- ・大型配送拠点に顧客（卸・販売店）を誘致
- ➡輸送レス：トラックで運ばず客先にお届け
繁忙期のトラック集中緩和
- ➡実車率向上：他社貨物との往復輸送や、同一ユーザーへの共同配送



会社概要



会社名：ダイキン工業株式会社
代表者：会長 兼 CEO：十河政則
社長 兼 COO：竹中直文
本社：大阪市北区

創業：1924年（大正13年）
グループ従業員数：連結103,544名
グループ会社数：連結子会社350社
3（国内31社、海外319社）

